

歴史的郷土資料680点を展示 「郷土資料保存館」オープン



7月1日、「鹿追町郷土資料保存館」がオープンしました。

馬そりやポンプなどの農機具のほか、生活用品680点を展示。「町熟年ボランティアの会」の協力でせんべい焼き体験やけん玉、おはじきなどの昔遊びコーナーも開設されました。また、紙芝居の読み聞かせも行われ、子どもたちは昔のように水あめをなめながら紙芝居を楽しみました。同資料館を10月末までに見学希望される団体・グループは、事前に図書館へお申し出ください。

気軽に参加できる会に 平成24年度 札幌鹿追会総会



7月1日、札幌鹿追会(寺島勝道会長、会員39人)の「平成24年度総会・親睦会」が札幌市で行われました。

会には約25人が出席。来賓として吉田弘志町長ほか各関係団体者が参加しました。寺島会長は「来年度は創立35周年を迎えるので、より多くの人が気軽に参加できる会にしていきたい」とあいさつ。吉田町長は「道東道開通により移動時間が短縮したので、より一層鹿追に目を向けてほしい」と呼びかけました。

展示室に流れる歌声と旋律 第18回蕪壑祭



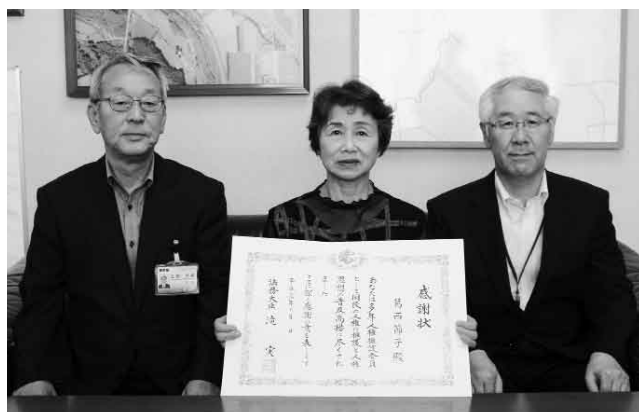
6月17日、「第18回蕪壑祭」(同実行委員会主催)が、神田日勝記念美術館で開催されました。

蕪壑祭とは、平成5年の同美術館開館日を祝うお祭りで、町内外から約100人の日勝ファンが参加。

展示室でのコンサートは地元「そよ風コーラス」が松里充氏の指揮で山田耕作作品集など計11曲を合唱。その後町民ホールで交流会を催し、十勝産チーズなどをワインと共に堪能しました。また、全員で「ふるさと」を合唱し交流を深めました。

町の話 town's topics

元人権擁護委員 葛西節子さん 法務大臣から感謝状



7月4日、人権擁護委員を6月をもって退任された葛西節子さんへの「法務大臣感謝状伝達式」が役場町長室で行われました。

葛西さんは、平成15年7月から3期9年間、地域住民の皆さまからの相談や人権意識への理解を深める啓発活動を行ってきました。式では、釧路地方法務局帯広支局長の石井宗郎氏から表彰状と記念品が手渡されました。また、安部克裕副町長からは「退任後も町民の人権擁護のご支援をお願いしたい」とねぎらいの言葉が送られました。

第62回社会を明るくする運動 「ファミリー夕食会」



7月1日、第62回社会を明るくする運動「ファミリー夕食会」が中央公園で開催されました。

人々の絆を強め、犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域社会を築くことを目的として開催。会場には出店コーナー「ふるさとテント村」も立ち並び、家族連れなどが焼き肉を囲みながら和やかなひとときを過ごしました。ステージでは、幼稚園児・保育園児らの遊戯や児童・生徒の吹奏楽演奏が繰り広げられたほか、ビンゴゲームやバンド演奏も行われ、多くの人出でにぎわいました。

人馬一体で熱い戦い 春季北海道エンデュランス馬術大会



6月23日・24日、「2012春季北海道エンデュランス馬術大会」(同実行委員会主催)が、鹿追町ライディングパークを発着とする特設コースで開催されました。エンデュランスとは、馬に負担をかけずに速く走り切るかを競う競技で、平成11年の第1回大会以降、春季・秋季合わせて本大会で26回目。大会では、計38頭の人馬が朝6時スタートの80km競技をはじめ、60km競技、40・20kmトレーニングライドへ出発。あいにくの霧雨の中、人馬一体でコースを走りました。

次代を担う農業経営者を育成 01農業塾 平成24年度開講式



6月18日、鹿追町01農業塾(塾長・吉田弘志町長)の「平成24年度開講式」がピュアモルトクラブハウスで行われました。

同塾は、次代を担う農業経営者を育成するために平成12年度から毎年開講されており、1期2年間の研修が行われます。新たに入塾した13期生5人のほか、2年目の12期生4人が出席。吉田弘志町長から歓迎のあいさつを受けた後、塾生から「たくさんのことを学び、自身の経営に生かしていきたい」など抱負が述べられました。